



第10期 神奈川区地域づくり大学

第3講「いろいろな活動のカタチ」～先輩たちが語る♪私の原動力～

- 日時：2024年12月15日「火」13時～16時
- 会場：かなーちえ(神奈川区地域子育て支援拠点)
- ゲストスピーカー：江藤 雅哉氏 (学びの寄合所ZONE)
稲葉 志乃氏 (コトコト商店(仮))
- ファシリテーター：塚原 泉氏
NPO法人親がめ理事長

- あいさつ・アイスブレイク(私の予定アクションプラン)
- 先輩たちが語る私の原動力①(江藤氏)
- 先輩たちが語る私の原動力②(稲葉氏)
- 私の原動力をほりさげる棚卸しワーク
- アクションプラン予定名発表タイム
- ふり返りタイム

13:00- あいさつ・アイスブレイク&前回のふりかえり

- ・2人1組で自己・活動紹介タイム 時間内にできるだけ多くの人と対話

13:25- 先輩たちが語る私の原動力① (江藤氏)

自己紹介

- ・第9期地域大卒業生
- ・学びの寄合所ZONE運営：ゾーン(集中)エリア+リラックス(寄合所)エリア
- ・立ち上げ経緯：保育園パパ友→小学校おやじの会→共育倶楽部→地域大受講→トライアル開催



学びの寄合所ZONE運営

- ・目的：気軽な自習環境を提供する／ご近所同士の会話の機会を増やす
- ・スタッフ：今までに出会った地域の仲間とボランティアで運営
- ・収支：賛同者からの物品等寄付、会場は無料
- 人の輪で広がるネットワーク 区社協子ども支援事業、地区社協、チラシづくりの達人等

課題意識と原動力

- ① わが子の中学校受験経験から通塾の格差を感じた→もっと身近に知的好奇心を育てる場があれば
- ② 地震・災害等何かあったときに日頃の近所づきあいがあるかないかは大きいと思っていた
- ③ セカンドキャリアとして：人生半ば、人生100年時代を見据えたときに少し視野を広げたい
- ④ 恩返し：今まで少しづつ広がった縁に対して純粋に恩返しをしたい

積小為大：小さい一歩をふみだし、歩みつづけるとそれが積み重なっていく

Q. どういう年齢の子どもが来る？

---A. 大人が多い 中高生が少しずつ 対象を絞っていない

Q. 周知や集客はどのように？

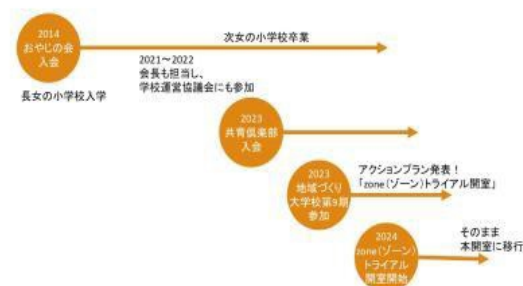
---A. そこまで集客を目的にしていない ご近所さんが足を運んでくれればいい
毎回10名程度、HPやチラシでPRしている

Q. 場所はどやって確保？

---A. 公共施設。申し込みがあればだれでも使える

Q. 助成金や補助金は？

---A. こじんまりとした活動、今は寄付でやっていけているので受けていない



学びの寄合所 zone (ゾーン) は、横浜神奈川区の小学校区に運営している団体です。地域の子どもと保護者様とのつながりを大切にし、また、区内の小学校区に活動拠点を設けて提供をしております。参加は無料の場や授業料を中々に活動の公開講座を開催しております。

※2024年より本開催、トライアルの場でも開催しております。
お問い合わせ先は、ホームページをご覧ください。

運営事務局から
QRコード
https://www.zone-jr.com

13:45- 先輩たちが語る私の原動力② (稲葉氏)

自己紹介

- ・第8期卒業生
- ・ブックイベントへの出店、まちライブラリーの活動など
- ・コトコト商店(仮) : シェア型商店
- ひと箱ショップ・アクセサリー作品・喫茶・読書会・販売会等イベント



自分の楽しいを実現するための場所であり楽しいことをみんなでつくっていく場所

・・・いかようにも変化していく場所 = (仮) は取らない

原動力

- ・楽しいことがやりたい！ やりたいようにやりたい！ ないならつくればいい！ という個人的な欲深さ
- 賛同してくれる人が結構たくさんいる = 人に伝えることの大切さ

経緯

- ・地域大で出会った場をもつ人とのつながりで期間限定SHOPが実現
- = いろんな意見を取り入れいろんなアイデアを試みた
- (1人で考えていると煮詰まってしまうこと : 他の人のアイデアで「目からウロコ」の体験)



一緒にやった人の “このあと何かできないかな” のつぶやき

- + 縁からの場の提供！ さらに一緒に運営してくれる仲間が少しずつ増え
- できることをムリをしないですこしずつ作り上げた
- = みんなでつくった場が・・・さらにそれぞれ個人の物語へ還っていく過程でもあった
- (わたしにとっては昔活動をはじめた原点の場所と奇しくも同じ場だった)

14:00- 感想シェア ・グループ (3~4人) で話を聞いてどう思った？ の交換

14:15- 卒業生から受講生へのエール

(江藤さん)

“千里の道も一歩から” みなさんすばらしい想いがあると
感じた。
あとはやるかやらないだけだと思う
いろんな人とつながって一歩踏み出してほしい

(稲葉さん)

自分のことを得意なことがあるわけでないし、能力があるわけ
でもない自分では感じている
なぜ活動できているか・・・強いて言えば、甘え上手なのかな
人に頼っていいと思う

14:30- 棚卸しワーク ・3~4人グループ (テーマ別でグループ化) でひとりずつシートを発表 (3分)

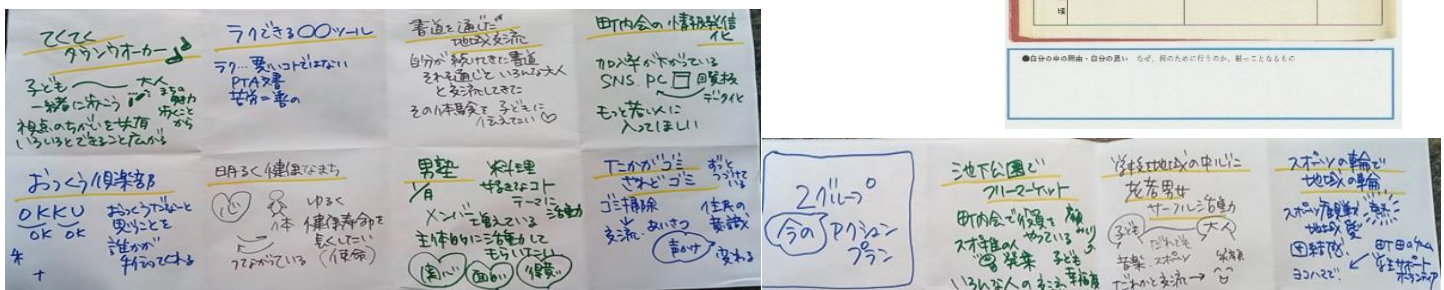
・グループ内で他の人から「いいね！」をもらう (3分)



時期	大きな出来事や注力した事柄	その時、感じた、思ったこと	キーワード
第1年 年度			
第2年 年度			
第3年 年度			
第4年 年度			
第5年 年度			

15:30- アクションプランタイトル

・A4用紙に現時点でのプランのタイトル・簡単な内容・キーワードを記載して発表



16:00 終了

・今日のひとこと感想わちあい（抜粋）情熱あるプラン／行動始めたい／究極は自分のため
言葉にする大切さ／横のつながりを感じる／視野が広がるいろんな人からのアイデアすごい

保育3名（6歳・4歳・3歳）保育協力者2名

受講生の気づき 抜粋

■先輩たちが語る私の原動力について

- ・地域づくりをするにあたって 規模の大小は関係なく 自分が何をしたいのか 人とどうつながりたいのかといったことが 江藤さん 稲葉さんのお話を通じて考えさせられました グループワークでは皆さんの原動力を知り これから何をしたいのか 自分自身 発見があった
- ・実際に立ち上がった先輩たちの事例からは勇気をもらえました 過去の失敗経験から始めからダメだろうと考えていたことも 時代の変化などにより可能になっていることを知ることができました
- ・ゲストスピーカーの方の活動が「今までの自分とつながっている」そして 実践したものが みんなのためになっていることが素敵
- ・自分で ハードルを上げていたもっと小さな積み重ねをしていくことで出来上がっていくこと自分が楽しんでやることが大切 周りに協力してもらうことが大きな力になる
- ・単発で終わってはいけない 小さいことでもいいから継続が大事 無理はしない 究極は自分のため

・稲葉さん 江藤さん それぞれのお話から多くを学びました 原動力 非常に大事なことですがそれを何とすることによらず最後には皆が笑顔になって気持ちよくなればそれに越したことはない 一つ一つの縁を大事にしたいと改めて感じました

■ 私の原動力をほりさげる棚卸しワーク

- ・棚卸し ワークでは自分の考えたアクションプランをより深く 具体的に まとめ 何をしたいのかが明確になり一緒にワークをした 学生さんの子供の時の現状を聞くことができました
- ・私の棚卸しシートを聞き 一人ひとり どういった思いがあるか 原動力は違うことがよくわかった
- ・自分自身のアクションプランがまだあまり定まっていないことに対して 焦りがあるが 棚卸しシート 始め 深掘りすることで見つかるのではないかと感じた また 卒業生の話に行動することの ヒントを見つけることができたのが良かった
- ・グループ活動の私の棚卸し ワークにて頂いたメンバーの意見を自分のアクションプランに活かしていきたい 有意義な意見交換であった（少ない時間でしたが）

・旅行のネットワークなどを生かすことが今の私に大事なことと認識しました。皆さんからアドバイスをもらえて新鮮でした 業界にいと見えない 他の方との交流がこんなに自分の世界を広げるんだと実感しました

■ 今日の気づき

- ・第1回目から人に伝えること 言語化する力がついたと思います 小さくても一歩踏み出したいと思いました
- ・地域が近い人 同じことをやりたい人と知り合えてよかったです 直接は結びつかない内容でも人の縁は大事
- ・場所の確保 マネタイズの方法など 具体的なことを聞くことができた地域には活躍している人が思ったよりも たくさんいることに驚いた やりたいこと 経験などはそれぞれですが 思いははからずも 似ていると感じた そういうことも参考にしながらアクションプランを考えていきたい